(様式第３号)

SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

記載方法

作成日：令和　　年　　月　　日　　企業・団体名：

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）【参考】記載例	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●		・採用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している（研修の実施、相談窓口の設置）				4.4	5.1 5.2			8.5 8.7		10.2 10.3						16.1 16.2	
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	●		・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している ・ハラスメント研修を実施している ・ハラスメント相談窓口を設置している																	
	3	【ワークライフバランス】 ・男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●		・業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取り組み、半日・時間単位で取得できる有給休暇制度の設置や有給休暇の取得奨励、テレワークの導入などを推進し、育児、ボランティア活動に積極的に参画できるなどの環境を整えている ・高知県ワークライフバランス推進企業認証制度の認証を取得している ・育児休暇・育児休業取得促進宣言を行っている																	
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●		・外国人技能実習制度技能実習生等の外国人労働者への適切な処遇や、受入環境・労働環境の整備を行っている（交流会、意見交換会の開催など） ・【該当なし】現時点では外国人労働者の雇用はしていないが、今後、雇用することがあった場合に、適切な処遇や受入環境・労働環境の整備ができるよう体制を整えている ・【該当なし】自社では外国人労働者の雇用はしていないが、取引先に外国人労働者がいた場合に、自社従業員が差別や人権侵害をしないよう、教育体制を整備している																	
	5	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		・社員向けの労働安全衛生講習会を実施している ・安全衛生優良企業公表制度の認定（厚生労働省）を取得している																	
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●		・メンタルヘルスに関する方針と計画を策定している ・メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するための研修を実施している ・【予定】メンタルヘルスに対応した休職規程等を整備する																	
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●		・多様な人材が活躍できる社内制度を設けている ・多様な人材の活躍状況をHPや広報誌等で積極的に発信している ・「くるみん認定」（厚生労働省）や「えるぼし認定」（厚生労働省）を取得している ・「ダイバーシティ経営企業」（経済産業省）等に選定されている ・障がいの種類や程度に応じた安全管理や安全確保のための施設等の整備、職場環境の改善を行っている ・製品やサービス及び施設等において、ユニバーサルデザインを考慮している ・高齢者疑似体験等の研修により、執務環境の見直しを行い、段差解消等の改善を行っている																	
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		・研修体制の整備や必要経費の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している ・良好な職場環境の醸成や部下の能力開発など、適切なマネジメントを実施できる管理職を育成するための教育を実施している ・高知デジタルカレッジを受講して、社内におけるIT人材の育成を進めている ・【予定】令和〇年〇月までに、資格取得の報奨金制度を創設する																	
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		・働き方改革関連法など、関係法令の内容を理解し、従業員（正社員・パート社員）の公正な待遇を行っている					5.5			8.5		10.2 10.3							
	10	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる		●	・高知家健康パスポート事業を活用し、従業員及びその家族の健康維持に向けた健康増進への取り組みを促進をしている ・高知家健康チャレンジを推進している ・人間ドック、インフルエンザ予防接種等の経費補助を行っている ・健康経営優良法人（経済産業省）の認定を受けている ・高知県ワークライフバランス推進企業認証制度における健康経営部門の認証を取得している ・協会けんぽの健康経営「高知家」プロジェクトに参加し、取り組みを進めている （※一般健康診断は法律により義務づけられているため、チャレンジ項目の取組内容として記載することはできません）			3					8										

■「取組レベル」
・「基本」としている項目については、その全てに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須要件となります。

・「基本」と「チャレンジ」は、変更しないでください。

■「具体的な取組」
・「SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項」の内容に照らして、それぞれの企業・団体において記載時点で取り組んでいる内容について具体的に記載してください。

・水色のセルの「基本」項目は、必ず記載してください。「チャレンジ」項目は、記載自由です。

・今後、1年以内に取り組む予定のものについては、「具体的な取組」の記載内容の前に【予定】と記載するとともに、8項目（「基本」の3割）以内としてください。なお、取組の開始時期が1年以内でないもの及び未定のものは、予定として記載することはできません。

・業種・業態等により全く該当しない場合は、冒頭に【該当なし】と記載するとともに、該当しない理由を明記してください。

・「取組レベル」の「チャレンジ項目」についても、取り組んでいるもの（または、今後取り組む予定のもの）があれば積極的に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

・登録後は、1年6か月ごとの報告時に状況を記載し、県に報告してください。県に報告いただいた進捗状況については、速やかに公表させていただきます。

・「具体的な取組」については、公表することを踏まえ、具体的かつ企業PRにつながる事項を積極的に記入してください。

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）【参考】記載例	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	11	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している		●	・時差出勤、在宅勤務（テレワーク等）を導入するなど、新しい働き方に対する労務管理体制を整備している ・ウェブ会議を積極的に導入している ・対面での打合せでは換気を行うとともに、マスクの着用を徹底している			3					8	9.1		11	12					
	12	【デジタル化の推進】 ・労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ・アフターコロナ時代における社会・経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している		●	・事業戦略や経営計画等において、デジタル化の取り組みを位置付けている ・高知デジタルカレッジを受講して、社内におけるIT人材の育成を進めている ・高知オープンイノベーションプラットフォームを活用した、付加価値の高い新サービスを開発している ・会議資料やカタログ等の電子化を進めている ・【予定】高知県産業振興センターの支援を受けながら、〇〇のデジタル化を進めている																
環境	13	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●		・エコアクション21を取得している ・廃棄物削減のための方針や計画を策定している（令和〇年～令和〇年）																	
	14	【エネルギー】 ・電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		・省エネ診断、その結果を踏まえた省エネ計画を策定し推進している（2019年策定） ・エネルギー使用量を算出しており、太陽光パネルを設置しているほか、LEDの使用を徹底し、オフィスの節電に取り組んでいる ・エネルギー使用量を算出しており、社用車にはEV車を導入している							7.3						13				
	15	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		・エコアクション21を取得している ・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出し、削減の計画を策定するとともに、社用車のEV化や、クールビズ・ウォームビズに取り組んでいる ・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出し、「おらんくのストップ温暖化宣言」に基づき、機器の効率稼働による省エネルギー等に取り組んでいる （参考）「おらんくのストップ温暖化宣言」：地球温暖化防止への取り組みを行っていることを宣言するもの（高知県地球温暖化防止県民会議が認定）																
	16	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●		・法令で規制されている有害化学物質を把握し、削減のための計画を策定している（令和〇年～令和〇年）																	
	17	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●		・環境に配慮した製品、サービスの提供を通じて、生物多様性の保全に努めている ・緑地や水辺の整備など、生物の生息・生育地の創出・保護に取り組んでいる ・高知県工業技術センターの「プラスチック代替素材利用促進分科会」に参加し、新素材の開発を進めている ・土地の開発を行う際には、生態系に及ぼす影響についてリスクを把握したうえで方針を策定し、必要な対策を講じている ・植林・間伐等の森林整備活動に取り組んでいる						6.6								15		
	18	【３Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●		・再生用紙の利用を推進している ・ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している ・環境に配慮した材料、製品、サービスの提供に努めている ・工場における資源利用の削減や再利用を推進している ・事業活動や従業員の行動において、プラスチックやレジ袋などの使用削減に努めるよう社員教育を徹底している											12.5		14.1			
	19	【カーボンニュートラルに向けた取組】 ・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる		●	・2050年CO2排出量実質ゼロを目指し、CO2の削減に係る計画を立てている ・【予定】令和〇年〇月までに、CO2の排出量実質ゼロとする取り組みを進めている（植樹やJクレジットの活用などカーボンオフセットの取り組み）							7.1 7.2 7.3 7.a			9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2
	20	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる		●	・自社の水利用状況を把握し、使用量削減等の計画を策定している ・事業所内設備に節水器具を使用している ・高知県リバーボランティア支援事業を活用し、河川環境美化を図っている						6.4 6.6											
	21	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等を取得している		●	・ISO14001、エコアクション21、RE100、REアクション等を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	22	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している		●	・HP等で環境情報を公開し、環境報告書を発行している												12.6					
	23	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる		●	・高効率熱源機や省エネ機器を導入している ・太陽光パネルや蓄電池を設置し、再生可能エネルギーを利用（供給）している							7.2						13				
	24	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●	・認証製品（森林、パーム油、ゴム、コーヒー等プランテーションにより生産される原材料、天然水産物および養殖水産物）を利用している ・合法材を使用していることの確認を行っている												12.2	13	14	15		
	25	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる		●	・規格外や未利用の農林水産物を有効活用している ・外食産業において、小盛メニューの導入や持ち帰りへの対応を行っている ・フードバンク活動を行う団体に未利用食品を提供するなど、食品の廃棄を削減している	1	2				6.4						12.3 12.5		14	15		17

■「主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目」
・どの項目（17のゴールと169のターゲット）に貢献するか、例示として記載しています。

・例示なので、変更しても構いません。「このゴールにも貢献する」といったことや、「ゴール全体ではなく、このターゲットのみ貢献する」といった特色を出しても構いません。（ただし、それ以外の場合は、空白等にせず例示のままとしてください。）

■No.14、No.15、No.16の「具体的な取組」について
・各指標（エネルギー使用量、温室効果ガス排出量、法令等で規制されている有害化学物質）について、把握している場合は、その旨記載してください。また、現時点では把握していないが、今後把握する予定がある場合もその旨記載してください。

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）【参考】記載例	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
公正な事業慣行	26	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	●		・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている																16 16.5	
27	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		・会社として公正な取引に努め、全従業員に向け、その重要性を発信している ・不公正競争行為の禁止を含む行動規範を整備し、明文化している ・仕入先等に対し、不当な値引き圧力がないか、チェックしている																16	
28	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●		・特許、商標等知的財産権の取得・管理をしている ・知的財産に関する研修や勉強会など、侵害防止に対する取り組みを行っている								8.2 8.3	9								
29	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●		・個人情報保護に対する基本方針を定めて公表するとともに、体制を整備している ・研修会を開催するなど、情報漏洩防止を徹底している ・情報漏洩事故に対する具体的な対応策を策定している																16	
30	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		●	・自社製品の原材料サプライチェーンを把握している																16	
31	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる		●	・取引先の活動に関心を持ち、対話を通じ、人権侵害の防止や環境保護等の取り組み状況を確認している					5			8		10		12	13	14	15	16	17
製品・サービス	32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保する仕組みを構築している	●		・製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している ・製品安全確保の観点を踏まえた取扱説明書を作成している			3.9									12.4					
33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	●		・顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している ・顧客の声を共有するための基本方針・体制・ルールを策定し、研修を実施している ・【予定】ISO9001を取得する									9								
34	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）	●		・高知県リサイクル製品等認定制度の認定を受けている ・再生用紙利用を推進している ・グリーン製品を購入している						6						12	13	14	15		
35	【木質化の取組】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している		●	・自社ビルの建築へのCLTの採用や、内装の木質化に取り組むなど、県産材を積極的に活用している ・机や名刺など、できるところから県産材の利用を進めている ・「協働の森パートナーズ協定」を締結するなど、森林再生に向けた取り組みを進めている（体験型環境研修、ボランティア活動などの取り組み） ・森林レクリエーション活動を実施している						6.1 6.6	7				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		●	・廃プラスチックを再利用した製品を開発し、商品化している ・地域と協働し、小規模木質バイオマス発電事業を展開している ・途上国のエネルギー分野の課題解決への貢献を実施している ・特定の社会課題解決をテーマとしたサービスを展開している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している	●		・地域との対話・見学会などを実施し、対話に基づき、事業の地域への影響の把握を行い改善に努めている				4					9		11	12		14	15		17
38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		●	・地域の防災活動に参画している ・地域の次世代を担う人材（学生・子ども等）との交流・育成の機会（キッズスクール等）を提供している ・「浦戸湾・七河川一斉清掃」や「あったか高知。秋のおもてなし一斉清掃」等、地域の清掃活動に参加している ・「高知県の地域の見守り活動に関する協定」を締結し、地域の見守り活動に協力している ・「高知県ふれあいの道づくり支援事業」に参加し、各路線の清掃活動を行っている ・フードバンク活動を行う団体に未利用食品を提供するなどの取り組みを行っている				4							11			14	15		17
39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている		●	・生産者や加工事業者等との連携により、県産原材料の優先的利用を促進し、地産地消を推進している ・【予定】令和〇年〇月までに、県産の原材料の優先的利用を促進する								8	9		11	12					

■No.37の「具体的な取組」について
・自社事業が地域に与える影響について、把握している場合は、その旨記載してください。また、現時点では把握していないが、今後把握する予定がある場合もその旨記載してください。

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄） 【参考】記載例	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織体制	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している	●		・職場の掲示板等で、法令遵守（コンプライアンス）の重要性を全従業員に向けて発信している ・コンプライアンス研修を実施し、従業員への啓発を行っている																16	
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している	●		・経営理念を明文化し、経営者は、会社のあるべき姿を従業員に説明し共有している								8	9								17
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	●		・担当者又は責任者（担当役員）を任命している																16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者（ステークホルダー）※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・定期的なアンケートの実施と、その回答の公表など、顧客の声（特に苦情）を大事にし、双方向コミュニケーションに努めている ・取引先や行政機関など、利害関係者（ステークホルダー）と連携した取り組みを進めている																16	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		●	・法令遵守（コンプライアンス）の方針、手順などの体制が整備されている ・内部通報制度（匿名性の保障や社外直通窓口など）が整備されている																16	
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している		●	・リスクマップ等を活用してリスクの洗い出し、評価を行った上で、適切な対策を講じている																16	
	46	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		●	・CSR方針を策定し、HPで取り組みを公表している																16	
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型感染症などに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる		●	・南海トラフ地震に備えてBCPを策定し、年に2回の訓練と見直しを行うなどBCMにも取り組んでいる ・【予定】令和〇年〇月までに新型感染症にも対応したBCPを策定する									9		11		13 13.1			16	
	48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・後継者の指導・育成に取り組んでいる ・円滑な事業承継に向け、事業承継・引継ぎ支援センターに相談し、検討を進めている								8	9								17
持続可能な社会・地方創生	49	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている	●		・定期的に避難訓練を行っている ・事業所において、食料や資機材を備蓄している ・従業員にハザードマップを周知している ・事業継続計画（BCP）を策定している ・「南海トラフ地震対策優良取組事業所認定制度」を取得し、南海トラフ地震に備えた事業継続、社員教育、地域貢献を実施している ・【予定】令和〇年〇月までに、ハザードマップを踏まえた、災害に対応する保険に加入する				4							11.5		13.1			16	
	50	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている		●	・高知県防災士養成講座を社員が受講し、防災士の育成を図っている ・自社を避難所、避難場所として開放している ・自主防災組織と連携した避難訓練を実施している ・高知県防災関連産業交流会に入会し、市町村等のニーズを踏まえた防災関連製品の開発を進めている ・高知県防災関連製品認定制度で認定を受けた防災関連商品の販売を促進している ・【予定】令和〇年〇月までに、会社の施設にAED（自動体外式除細動器）を設置する	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている		●	・顧客や従業員、地域の子どもなどに対し、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている ・社内でSDGsに関する研修を実施し、社員全員にSDGsへの意識が浸透している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、UIターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している		●	・新規学卒者の採用に向け、高校生や大学生のインターンシップを積極的に受け入れている ・地元の学生を積極的に雇用している ・学校等と連携し、出前授業などを行っている ・高知県移住促進・人材確保センターを通じ、都市部などからのUIターン人材を積極的に採用している ・学生や社会人を対象にした就職関連イベントに積極的に参加し、優秀な人材の確保に取り組んでいる ・就職氷河期世代チャレンジ応援団に登録している				4.4				8.5 8.6									17
	53	【中山間地域を意識した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している		●	・中山間地域の素材を活用した料理の提供や加工品づくりを行っている ・中山間地域にサテライトオフィスなどを開設し、地域の雇用を創出している ・中山間地域における観光商品づくりを行っている ・中山間地域で職員研修やワーケーションを実施している ・中山間地域で移動販売を行っている								8	9		11							